学校教育目標 ： 「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にする学びがある学校～自ら未来を拓く「エージェント」としての主体性の育成～

岩松小学校だより



学校だより　第２８号
令和８年１１月１３日発行
発行者　校長　真子靖弘

岩松小の取組を地域、県内へ発信！

保護者の皆様に本校職員の頑張りと「研究熱心な姿」をさらに知っていただくため、最近の主な取り組みについてお伝えいたします。

本校は、算数科を中心に子どもたちの主体性を育む授業づくりに全職員で取り組んでいます。ここに挙げた発表事例にとどまらず、全教員が日頃から教材研究や授業改善に励み、全員が提案授業（研究授業）や事後協議会を通してより質の高い学びを追求しています。

11/4(水)には、**3～6 年生の縦割り単元内自由進度学習（MATH ますタイム）**を県内の先生方へ公開しました（授業者：今村教諭、古川教諭、兵動教諭、廣末教諭）。当日は 20 名もの参加があり、講師の浦郷准教授（長崎国際大学）からは、本授業のよさとして、①目の前の子どもを大切にする、②教育活動の目的の明確化、③チャレンジする姿勢といった点を高く評価していただきました。



11/9(月)には、**５年生の社会科授業**を小城・多久地区の社会科主任の先生方に公開しました。授業者の山﨑教諭は、来年度開催される県小学校社会科教育研究大会唐津大会で**資料発表**を行います。

11/21(土)には、古川教諭が北多久公民館で蒼空（SORA）主催の研究会（14:50～発表）にて**実践発表**を行います。本研究会のテーマは「一時的援助サービスの充実に向けて～特別な教育的支援を必要とする子どもたちも念頭に置いた学級全体での指導方法の工夫について～」であり、日頃行っている多様な子どもたちを包摂する指導実践について発表します。

校長も負けてはいられません。**11/12(木)**、佐賀県小中学校校長会教育研究大会で本校の教育活動について**発表**を行ってまいりました。

11/27(金)には**「特別活動（代表委員会）」**を、**12/15(火)**には**「学校経営」**について県内の先生方に公開し全教員でさらに研究を深めていく予定です。

こども応援団プロジェクト 2026

11/7(土)、佐賀トヨペット様の**「こども応援団プロジェクト」**で希望児童と鳥栖スタジアムへサッカー観戦に出かけました。試合は惜しくも 1 対 2 でしたが、子どもたちの応援は選手へ届き、試合後にはフィールドで芝生サッカーや選手とのハイタッチを楽しみました。



事前から全校応援練習や 3 年生による選手の似顔絵作成など、熱い気持ちで準備してきた思いが、当日の特別な体験として返ってきたようです。給食時の放送で 5 年生のサガン鳥栖応援係からの「誰かを応援する大切さを学びました！」という言葉に、子どもたちの確かな心の成長を感じました。

笑顔あふれるおもちゃ祭り



10/30(金)、**２年生**が心を込めて企画した**「おもちゃ祭り」**が開催され、１年生がゲストとして招待されました。

始めに行われた２年生７店舗によるアピールタイムでは、工夫を凝らした素晴らしい発表が披露されました。手作りの景品を用意するなど「１年生を楽しませたい」という相手を意識した思いやりの心があふれ、１年生も大喜び。上級生としての頼もしい姿と、温かい笑顔が広がる素敵な交流となりました。

12/6（日）、音色と夢がひろがる参観日

12/6(日)は**授業参観日**です。当日は参観に加え、**久米詔子**さん（久米詔子音楽教室主宰）による「電子オルガン演奏会」と、**西岡津世志**さん（「夢を語れ」代表／ポッドキャスト『月曜から早起き』毎週月曜 6:00～配信）による「第３弾『まちのかっけーOTONA 講演会』」を同時開催します。



プロの音色と熱い生き方に触れる特別な一日です。保護者の皆様もぜひご参加ください。